

岩手県立盛岡短大 ○中屋 弘子
 菊地 秀子
 平山 貞
 藤田 敦子
 鷹觜 洋子

1. 先般、南部利英氏より盛岡市に対して、江戸時代よりの伝来の服飾、調度品等が寄贈になったが、その整理調査の一端をあずかってきた。古くは江戸初期のものからあるが、これらはどんなに保存に留意しても、永い年月を経過するうちには褪色は勿論、損傷、欠落等を避けることはできないものである。今後の管理に心がけると共に、現在の時点でのくわしい実物調査を行ない、その精細な記録を残しておく必要がある。又資料の大半は製作、着用された年代が不明であるから、一つでも多く、それらの経緯を明らかにすることができればと願い、研究をすすめている。

2. 南部邸は現在盛岡市公民館になっていて、服飾調度品等は庭内の倉庫に収納されている。曝涼の必要もあるので一点ずつ整理をして総目録の作製をすると共に、実物写真撮影、法量、その他の記録調査をすすめている。

3. 現在、調査は途中の段階であるが、総目録の整理、年代等の類推、生地、意匠等の解釈と名称を付すること。法量の記録、などの作業をすすめることができた。